

四季折々の詩

麻里布中学校
令和8年6月18日 No.259
Tel 22-2234 FAX 22-2235



令和8年度 生徒総会議題「挑戦～愛で麻里布を身近に～」

5月29日、生徒総会が開催されました。本総会は、学校生活におけるさまざまな課題について、生徒一人ひとりが当事者意識をもって考え、課題解決に向けた議論を行うことで、生徒が主体となる自治的な生徒会組織づくりを目的としています。



本校では、今年度、地域との関わりを深め、生徒が地域の一員、そして担い手としての意識を高めることを目標に教育活動を進めています。こうした方針のもと、今回の生徒総会では、生徒会が中心となり、「地域との関わりを増やすには」「地域の方に愛される麻中生とは」の二つの視点から活発な議論が行われました。

生徒からは、次のような前向きで具体的な意見が出されました。

地域との関わりを増やすには	地域の方に愛される麻中生とは
・体育祭で準備運動（ラジオ体操）を一緒にする。 ・文化祭で、地域の方の作品を展示する。 ・地域の方と昔遊びをして交流する。 ・全校合唱（大地讃頌）を一緒に歌う。 ・合唱コンクールの採点をしていただく。	・日頃からあいさつをする。 ・礼儀を正しくする。 ・コミュニケーションをとる。 ・積極的にボランティアや行事に参加する。

これから、具体化に向けて議論を深めていきます。生徒の取組に御理解と御協力をお願いします。

小中合同研修会「小中学校9年間でどのような力をつけるか」

6月3日、麻里布小学校と麻里布中学校の教職員が一堂に会し、小中合同による研修会を開催しました。本研修会は、「小中学校9年間でどのような子どもを育成するのか」という視点に立ち、義務教育を通した一貫性のある指導の在り方について理解を深めることを目的として行われたものです。



当日は、小学校の先生方が中学校の授業を参観し、生徒の学習の様子や成長の過程について理解を深めました。その後、「ふるさと学習（キャリア教育）」「学び」「心と体」の三つの視点に分かれて協議を行い、育てたい子ども像の実現に向けて必要となる力や、そのための具体的な教育活動について活発に意見交換を行いました。

今回の研修会を通して、小学校・中学校それぞれの実態や取組を共有し、9年間のつながりを意識した教育の重要性を改めて確認することができました。

今後も、両校が連携を一層深めながら、児童生徒の成長を切れ目なく支える教育の充実に努めてまいります。



人権参観日

6月15日、人権参観日として、全校で人権教育の授業を実施しました。各学年がそれぞれの課題に向き合い、自分自身の在り方や他者との関わりについて考えを深める貴重な機会となりました。

1年生は、「いじめゼロプロジェクト」をテーマに学習しました。いじめに関する動画を視聴した後、加害者・被害者・傍観者それぞれの立場に立って考え、どのような行動をとればいじめを防ぐことができるのかについて話し合いをしました。一人ひとりが自分にできることを見つめ直し、いじめを許さない集団づくりへの意識を高めました。



2年生は、「人権感覚アップデート」をテーマに、現代社会における課題の一つである SNS 上の人権について考えました。何気ない投稿や反応が、知らず知らずのうちに相手の人権を侵してしまう可能性があることを学びました。その上で、トラブルを未然に防ぐための行動や心構えについて理解を深めました。



3年生は、「認知症の理解と接し方」をテーマに学習しました。認知症に対する正しい知識を身に付けるとともに、認知症の方とどのように関わることが望ましいのかについて考えました。我が国では高齢化が進み、認知症の方も増加しています。今回の学びを通して、認知症の方やその御家族を温かく見守り、適切に支える「心のバリアフリー」の社会づくりにつながることを期待しています。



今回の人権学習が、生徒一人ひとりの人権意識を高め、日常生活の中で他者を尊重する行動へとつながっていくことを願っています。今後も、学校全体として人権教育の充実に努めてまいります。

緊急時生徒引き渡し訓練

6月15日、近隣市町において、強盗事件が発生し、犯人が逃走中であると想定して、生徒を保護者に引き渡す訓練を行いました。事件発生から、引き渡しをする判断、保護者への連絡、安全を確保しながらの誘導や保護者への引き渡しまでの一連の流れを確認しました。体育館での確認に時間がかかり引き渡しまでに時間を要しましたが、事故なく無事に引き渡すことができました。訓練に御協力いただきました保護者の皆様、そして、車の通行に御協力いただきました近隣の皆様、御協力ありがとうございました。



薬物乱用防止教室「オーバードーズについて考える」

5月25日、学校薬剤師の河田先生を講師にお迎えし、3年生を対象に「薬物乱用防止教室」が行われました。この度は現代の課題の一つになっている「オーバードーズ（OD）」を中心に考えました。河田先生からは、薬は正しく使用することによって、効果が持続し症状を改善することができるが、ODでは、その効果の範囲を超えて副作用が起こり、死に至る可能性もあるとのお話がありました。加えて、ストレスを感じたときにどのように対処するかを考え、安易に薬物乱用に至らない生活をする必要と話されました。

5月25日、学校薬剤師の河田先生を講師にお迎えし、